

自分の未来は自分の力で切り開こう

～一生勉強、一生青春～

学校法人有朋学園有朋高等学院講義資料



2018年6月1日(金)

14:00～15:30

学校法人有朋学園有朋高等学院

理事長 林 明夫

<第1部>

Q1：好きなことばはありますか。

A：あります。たくさんあります。

- (1)「小学4年生は、新聞を毎日読む」(岡典子)
- (2)「練習で泣いて、試合で笑え」(椎名弘)
- (3)「ブルドッグ魂。食いついたら離すな」(岡田忠治)
- (4)「一所懸命」足利高校マラソン大会  
(一つの所で命を懸けるくらい熱心に、物事に取り組む)
- (5)「注意一秒、ケガ一瞬」(宮沢浩一)
- (6)「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず」(福沢諭吉)
- (7)「スポーツの3つの宝」(小泉信三)
  - ①「練習は不可能を可能にする」
  - ②「フェアプレイ」
  - ③「よき友」
- (8)「初心忘るべからず」(世阿弥)
- (9)「持続する志」(大江健三郎)
- (10)「離見の見(りけんのけん)」(世阿弥)  
(舞台上で踊っている自分を、離れた観客席から見る)
- (11)「会った人は、皆、友達」(石川洋)
- (12)「目には遠いが、心は近い」(インドのことわざ)
- (13)「歴史における個人の役割」(プレハーノフ)
- (14)「教育ある人とは、勉強し続ける人」(ドラッカー)
- (15)「一生勉強、一生青春」(相田みつを)



Q2：高校での勉強は役立ちますか。

A：役に立ちます。全教科、すべて役に立ちます。

- (1)①現在の学年で役立ちます。
  - ②次学年で役立ちます。
  - ③大学、短期大学、専門学校、専修学校、大学院で役立ちます。
- (2)①仕事をするとき役立ちます。
  - ②社会的な活動をするときに役立ちます。
  - ③家庭生活や、よく生きるうえで役立ちます。
- (3)①高校での勉強内容は、すべての勉強の基礎、基本中の基本です。
  - ②道路工事にたとえば、小中学校での勉強は土台の土入れの工事、高校での勉強は砂利入れの工事、大学や短期大学、専門学校での勉強はアスファルト工事です。
  - ③どれも欠かせません。土の上に、砂利をしっかりと敷かないと、アスファルトは敷けません。車も走れません。



Q 3 : 高校時代に身に着けたほうがよいことは何ですか。

A : (1) 「自己学習能力」です。

\* 「自己学習能力」とは、「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」です。

(2) ① 「自覚」を持って学ぶことです。

② 「目的 (ゴール)」を明確に持つこと。

③ ゴールに至る一里塚・マイルストーン・「目標」を明確にして学ぶこと。

(3) ① 「学習の仕方」を身に着けること。

② 「読解力」を身に着けること。

\* 「辞書」・「新聞」・「読書」は「読解力」を身に着けるための「三種の神器」

③ 「図書館の利用方法」を身に着けること。



Q 4 : このほかにありますか。

A : (1) PC、スマホを使いこなすことです。

① スティーブ・ジョブズの伝記は必読。

② 数学・科学・美術・音楽・国語・英語・社会・デザインの深い勉強は欠かせません。

③ シブサワユウ、落合陽一に注目。トマス・フリードマン「遅刻してくれてありがとう」(上下)は必読。

(2) 「5S」(ゴエス)です。

① 「整理」SEIRI …不要なものは捨てる

② 「清掃」SEISOU …きれいに掃除をする

③ 「整頓」SEITON …ものは同じところに置く

④ 「清潔」SEIKETSU …①～③を継続する

⑤ 「躰」SHITSUKE …自分から進んで行う

(3) 別の意味の「躰」も大切です。

① 「美しい立ち居振る舞い(たちいふるまい)」

② 「美しいことば遣い(づかい)」\*敬語表現を含むことば遣い

③ 「元気な挨拶(あいさつ)」



Q 5 : 前半の最後にひとことどうぞ。

A : (1) 人生は長い。高校での勉強は奥深いものです。奥深い高校の勉強は、一生学び続けるに値します。

(2) 大学、短期大学、専門学校、専修学校、大学院での勉強は、さらに奥深いものです。一生学び続けるに値します。

(3) さらに奥深いのが、仕事や社会的な活動をするうえでの勉強です。よく生きるとは何かを学ぶことです。ゆっくりでOKですから、焦ることなく、時間をかけて、少しずつでも、一度学んだことを学び続けてください。「継続は力」です。

ここで「一休み」します。

## <第2部>

「効果の上がる学習方法」を39年間かけてとりまとめた、「学習の3段階理論」をご紹介します。

### はじめに

「学習の3段階理論」とは、「学習を『理解』・『定着』・『応用』の3段階に分け、効果の上がる学習方法を具体的に示したもの」です。

- (1) 小学校・中学校・高校はもちろん、大学・短期大学・専門学校・専修学校・大学院で学ぶときや、学校を卒業後に社会に出て仕事や社会的な活動をするとき、充実した人生を送るときにも役立つ学習方法です。
- (2) 「学力」とは、「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」と考えます。
- (3) 有朋高等学院の生徒である間に、「学習の3段階理論」を活用して、「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」をしっかりと身に着けましょう。

#### Q1：第1段階の「理解」とは何ですか。

A：「理解」とは、「うんなるほどと、よくわかること、納得すること、腑(ふ)に落ちること」です。理解の場面は次の3つです。

- (1) 「授業での理解」
- (2) 「復習での理解」
- (3) 「予習での理解」



#### Q1-1：「授業中」の「理解」の方法とは何ですか。

A：(1) 授業中は、手を机の上に置き、先生目と口元を見て、熱心に授業を聞くこと。  
(2) 先生の指示に従い、積極的に授業に参加すること。  
(3) 大切なことは、すべてノートにメモを取ること。

#### Q1-2：「復習」での「理解」の方法とは何ですか。

A：「復習」とは、「授業で学んだことを、その日のうちに、もう一度やり直すこと」です。「授業後」の「復習」での「理解」の方法は3つあります。

- (1) 教科書や教材、問題集、授業中に取ったノートなどを、一語一語、もう一度読み直すこと。
- (2) 計算や問題は、もう一度解き直すこと。
- (3) 意味のよくわからない語句や内容は、辞書や用語集、教科書、参考書で調べる。調べたことはノートに書き写し、その場で覚えること。

\* 「授業前の短い時間」にも、それまでに習ったことを「復習」し、授業に臨みましょう。とても効率よく復習ができ、その日の授業がよくわかるようになりますよ。



Q 1 - 3 : ところで、「ノート整理」は大切なのですか。どのように「ノート整理」をしたらよいのですか。

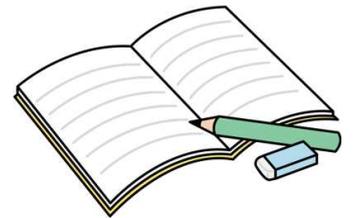
A : とても大切です。

(1)「ノート」は、あとで読みやすいようにすることが大切です。そのためには、「ノート整理」を怠らないことです。

(2)大切な語句や内容には、「マーク(印)」をつけること。定規を用いて線などで囲むこと。

(3)あとで調べたことは、ノートの余白に書き足すこと。余白がなければ、ポストイットや別の紙に書き足して、ノートに貼り付けること。

\*ノートは英語で notebook と言います。いろいろ工夫して、一生使える My Notebook を作り上げましょう。



Q 1 - 4 : 「予習」での「理解」の方法とは何ですか。

A : 「予習」とは、「授業の内容を予め自分の力で学習すること」です。「予習」での「理解」の方法は3つあります。

(1)意味のよくわからない語句や内容があったら、「気持ちが悪い」と考え、辞書や用語集、教科書、参考書でよく調べること。調べたことはノートに書き写し、その場で覚えること。

(2)計算や問題は、自分の力で、「ノート」に解いてみること。

(3)「よくわからないところをはっきりさせてから、授業に臨む」ことが、「予習」の目的です。

(4)「予習」の段階でも、「定着のための3大練習」(「音読練習」、「書き取り練習」、「計算・問題練習」)に励みましょう。

(5)「授業直前の短い時間」にも、その日の学習範囲を予習し、授業に臨みましょう。

(6)これからの学校の授業はアクティブ・ラーニング、課題探求型の授業が多くなります。そのときに欠かせないのは「予習する力」です。大学の授業には予習が欠かせません。社会に出て勉強するときにも予習は必須です。中学・高校生のうち「予習する力」(予習力)を身に付けて大学に進学し、社会で活躍しましょうね。

Q 2 : 学習の3段階理論の第2段階目の「定着」とは何ですか。

A : (1)「定着」とは、「うんなるほどと、よく『理解』できたことを確実に身に着けること」です。

(2)それには、「定着のための3大練習」が効果的です。

(3)「定着のための3大練習」とは次の3つです。

①音読練習

②書き取り練習

③計算・問題練習



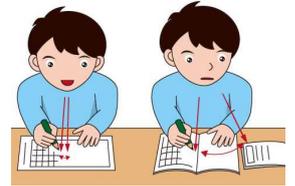
Q 2 - 1 : 「音読練習」とは何ですか。

A : 「音読練習」とは、「スラスラとよく読めるようになるまで、声に出して繰り返し読む練習をすること」です。

\*何も見ないでスラスラと言えるまでにする「暗誦(あんしょう)」を目指しましょう。

Q 2 - 2 : 「書き取り練習」とは何ですか。

A : 「書き取り練習」とは、「楷書(かいしょ、教科書の書体)で、書き順も含め、正確に書けるようになるまで、繰り返し書く練習をすること」です。



\*暗誦した内容を何も見ないで書けるまでにする「暗記」を目指しましょう。

Q 2 - 3 : 「計算・問題練習」とは何ですか。

A : 「計算・問題練習」とは、「なぜそのような答えになるのかがよく『理解』できた計算や問題は、見た瞬間に条件反射で正解が出てくるまで、繰り返し同じ計算や問題を解く練習をすること」です。

\*条件反射で正解が出るまで、練習しましょう。

以上の「定着のための3大練習」は、「不可能を可能」にします。



Q 3 : 学習の3段階理論の第3段階目の「応用」とは何ですか。

A : 「応用」とは、「理解」「定着」した内容を用いて、

- (1) 「学校の定期試験などのテストで、『よい点数(100点満点)』が取れること」
- (2) 「入学試験や国家試験、資格試験などで、『合格点』が取れること」
- (3) 「社会で活用できること」です。

Q 3 - 1 : 学校の定期試験などのテストで、『よい点数(100点満点)』を取る方法とは何ですか。

- A : (1) 「定着のための3大練習」をやり抜くこと。  
(2) 出題範囲について「スミからスミまで覚える」こと。  
(3) テストの1か月以上前から準備をすること。



Q 3 - 2 : 入学試験や国家試験、資格試験などで『合格点』を取る方法とは何ですか。

- A : (1) 過去に出題された問題(過去問)を5~10年分、5~6回解くこと。  
(2) 間違えた問題は、「間違いノート」を作成すること。  
(3) 大切な問題は徹底研究し、「まとめノート」を作成すること。

Q 3 - 3 : 「社会で活用する力」を身に着ける方法とは何ですか。

- A : (1) 学校で勉強するすべての教科の内容は、上級学校や社会ですべて役立ちます。一生役立ちます。  
(2) ですから、学校で用いた教科書や教材、ノートは、学校を卒業後も絶対に処分しないこと。  
(3) 学校の授業や学生時代の勉強を思い出し、社会に出てからも一生かけて、繰り返し学び直すこと。

Q 4 : 学習方法を身に着けると同時に大切なことは何ですか。

A : (1) 「自覚」を持って学習することです。

\*特に受験生は「自分は受験生だ」という受験生としての「自覚」を持ち、受験勉強に励むこと。

(2) 「読解力」を身に着けることです。

① 「辞書」を用いて「ことばの数」「語彙(ごい)数」を増やすこと。〈ことばは力〉です。

\*調べた内容は意味調べノートやカードに書き写し、いつも1ページ目、1枚目から読み直し、すべて覚えましょう。

② 「新聞」を毎日読み、「自分で考える力」「批判的思考(クリティカルシンキング)能力」を身に着けること。

\*興味のある記事は、切り取って「スクラップブック」に貼り付け、意見・感想・コメントを書いて、繰り返し読み直しましょう。

③ 「読書」を毎日行い、「思慮深さ」「省察力」を身に着けること。

\*大切な語句や文章は、「書き抜き読書ノート」に書き抜き、折に触れて1ページ目から読み直しましょう。

(3) ハードな「長時間自己学習」です。

「学習効果」 = 「本人の自覚」 × 「読解力」 × 「学習方法」 × 「学習時間」



Q 5 : おわりに

A : (1) 「学習の3段階理論」を参考に学習方法を工夫すると、短期間でも、必ず一定の成果が出ます。

(2) しかし、やり通すには、「主体的に学ぶ力」と、かなりハードな「長時間自己学習」が求められます。「学習の3段階理論」を活用して、「自分から進んで学ぶ力」、「主体的に学ぶ力」をしっかりと身に着けましょう。

(3) 「主体的に学ぶ力」が身に着くと、

① 「多様な選択肢のある人生」を歩むことができます。

② 「正常に機能する社会の形成」に貢献することができます。

自分の未来は、自分で切り開く。あきらめたらおしまいです。がんばりましょう。

以上

— <プロフィール> —

- ・開倫塾 塾長、開倫塾日本語学校 理事長、開倫ユネスコ協会 会長
- ・宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授
- ・マニー株式会社 (手術用縫合針製造、東証一部) 顧問、社外取締役 (2004 ~ 2010年)
- ・社会福祉法人両崖福祉会 特別養護老人ホーム清明苑監事 (足利市)
- ・文字・活字文化推進機構 評議員
- ・公益社団法人経済同友会 幹事